

# INSPIRE No.33



## ギフトッドサポートグループミーティング

テーマ:「ギフトッド101 - ギフトッドの基礎知識。最新のアメリカのギフトッド事情」  
皆さんはギフトッドという言葉を知っていますか。

米国では「生徒、児童、若者に対してギフトッドおよびタレンティッドという言葉が用いられた場合、知性、創造性、芸術、リーダーシップ、あるいは特定の学術分野において高い潜在能力を示し、また、そうした能力をフルに開発するには通常の学校教育にはない支援や活動を必要とする子供、生徒、若者を意味します。」という定義を用い、ギフトッドの生徒たちは必要な教育を受けています。しかし、欧米に比べて、日本ではまだギフトッドの概念が薄く、ギフトッドの子供達を対象に、それぞれの子供が持つ才能を開花させるプログラムや教育機関はまだ多くはありません。同時に、ギフトッドの子供達とその保護者が必要な感情面や教育面でのサポートも少ないです。ギフトッドについて知りたい方、是非ご参加ください。

日時：11月18日（土）

時間：9:00 - 12:00

費用：1,000円

対象者：保護者、教育関係者、医療関係者

場所：スクエア荏原の第3小会議室

住所：東京都品川区荏原4-5-28（武蔵小山駅徒歩10分）

お申し込み：office@jagifted.org

**是非ご参加くださいませ！**

## 非同期発達

ギフトッドの子供の成長はしばしば非同期である。精神の成長速度に肉体が伴わず、そのうえ認知や感情機能においても、一部が他の部分とは異なった発達段階にあることも頻繁に見られる。乳幼児期における認知発達の非同期性がもっともよく知られた例は[アルバート・アインシュタイン](#)であろう。彼は3歳まで言葉を発さず、その後 流暢に話し、完全に遅れを取り戻した。この点に関して、脳神経の研究者[スティーブン・ピンカー](#)は、アインシュタインをはじめ言葉が遅かったギフトッドが大人になってから達成したことは、幼少時の言語の欠損とは別物、欠損にかかわらず大成した、言葉の遅れという障害があったという見方はせず、むしろ天才的才能と言葉の遅れの共存は発達上本来あるべき形なのかもしれない、という理論を述べた。

ギフトッドは、精神と身体、一部の感覚器官と他の部分における発達の非同時性という不均衡のみならず、秀でている得意分野と不得意分野、OEが強い分野と弱い分野という面でも不均衡である。人は誰でも不均衡であるが、ギフトッドは秀でた部分やOEの反応が通常より非常に大きいいため、不均衡の度合いが大きい。不均衡という点では互いに共通しているギフトッドも、個人個人の違いは大きいいため、エンリッチメント・プログラムなどなるべく個々人に合った教育環境が必要とされる。(Wikipediaより)

ウーン・・・、なんて解りにくい言い方なのだろう。この小難しい文章に、当時しっくりこなかった。もっと解りやすく共感できる事例はないのかなあ？我が子に置き換えると、確かに言葉の発達は遅かった。さらに、足は遅く球技はてんでダメで運動神経も鈍かった。非同期発達の我が子に、あえて診断名をつけるならば、LD（ディスグラフィア書字のみ）とDCD（発達性協調運動障害）のハーフ障害かな？せっかく凸があっても、凹のおかげで、ギフトッド？全くピンとこない私がいた・・・。

しかし、いくら凹があるといえども、私はくじけなかった。身体の不器用さを克服するには長い長い時間とトレーニングが必要なのではと本能的に感じ、ニブいながらも療育や運動習慣は怠らなかった。今すぐには出来なくてもいい、いつか普通に出来たらいいやの気持ちで。

◎眼と手と脳の協応がわるい→手先と目とボディバランスのトレーニング（イプラスジム）

◎運動神経が鈍い→苦手な球技を避けて通るが、他の全身運動でカバーする

（スキー・遠泳・ウインドサーフィン・カワイ体操教室・家庭にトランポリン設置）

マイナースポーツで苦手や負担や比較を感じない、そんな感じでこれまたユル～い気持ちで。

それから数年後、中学生生活最後の運動会は、私の体調不良で参観が出来なかった。これでぶざまに走る我が子を見なくて済む。そんなチョッピリ切ない気持ちもあった。

1年後、タンスの整理整頓をしていたら、中3当時の生徒全員の「運動会一言感想集」が出てきた。思春期突入してからは、学校からのモノを見せなくなっていた。なんとその感想には、たくさんの生徒からの「足が速いね、イイネ！」の一言！

私「??????あ・し・が・は・や・い????」

現場を目撃しなかった私は、生徒の一言が信じられなかった。運動の発達は9歳まで、俊足は生まれつきであって、トレーニングで人並みになっても走れても速くはならないでしょうに・・・。

17歳の今、秋クラブはスカッシュにチャレンジしているようだ。あのずっと避けて通ってきた球技だ。いまさらまた恥をかきたいのか？全くヤツは何を考えているのだろうか・・・。

子「スカッシュ、楽しいよ！」私「エッ？楽しんでる？」

脳が身体が回路が目が手が足が、凹がしっかり伸びていたのだ！咲いた、咲いた、遅咲きの身体。

非同期発達とは？意味を思い知らされたこの秋であった。- M. I.

“振り返り”

せっかくの良い体験なども、振り返りなくては、経験にはならず、  
子供にとっては単なるイベントでしかなくなってしまうかもしれません。

子供に必要なもの。それは「静」。

動き回ってはいなくとも、学校に行って、習い事に行って...「動」ばかりで、  
ニュートンのようにリンゴが落ちるまでその場にいられないかもしれませんし、  
もしかたら、落ちたことにも気がつかないかもしれません。

一箇所で物思いにふけるような「静」はありますか。

子供に必要なもの。それは「退屈」。

「あ一つまらない」という言葉。

しかし、他のもの、他の人から楽しませてもらってばかりいると、

自ら楽しみを生むヒラメキはなくなっていくでしょう。

しかし、本来いくらでも楽しみを生み出せるヒラメキというものがあります。

子供に必要なもの。それは「何もしない」。

ただ座る。

そこに存在する。

それから

「振り返り」

